



7 坊っちゃんカラクリ時計
道後温泉駅前の放生園にあり、道後温泉本館振鷺園をモデルにデザインされている。1時間おき(季節によっては30分おき)に坊っちゃんやマドンナら小説『坊っちゃん』の登場人物、入浴客らの人形が音楽に合わせて現れる楽しい時計だ。



6 道後公園・湯築城跡
中世にこの地を治めていた河野氏が本拠地としていた湯築城跡に整備された公園。国の史跡に指定されている。
■住/松山市道後公園
■問/☎089-941-1480
※入園自由



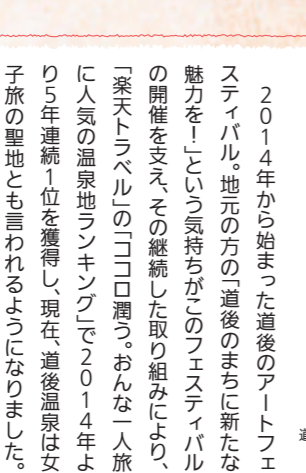
5 道後商店街
道後温泉駅と道後温泉本館を結ぶL字型の商店街で、別名「道後ハイカラ通り」。かんきつや松山銘菓など特産品を扱う土産物店が多く、趣のある喫茶店や郷土料理を味わえる飲食店など約70軒が並ぶ。



1 道後温泉本館
2019(平成31)年1月15日から営業しながらの保存修理工事に着手。1階神の湯での入浴が可能。
■住/松山市道後湯之町5-6
■問/☎089-921-5141
■営/6:00~23:00(礼止めは22:30)
無休(12月に1日臨時休館あり)



坊っちゃん列車



道後公園・湯築城跡



道後温泉の守り神 湯神社



2 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉
「太古の道後」をテーマに、道後温泉にまつわる伝説や物語などを「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で上質な温泉の癒しとともに、感性を刺激する空間を演出。
■住/松山市道後湯之町19-22
■問/☎089-932-1126
■営/6:00~23:00(コースにより異なる)
無休(12月に1日臨時休館あり)



3 椿の湯
道後温泉街にあるもう一つの外湯。レトロな本館に対し、こちらはモダンな雰囲気地元民に愛されている。
■住/松山市道後湯之町19-22
■問/☎089-935-6586
■営/6:30~23:00(礼止めは22:30)
無休(12月に1日臨時休館あり)



4 足湯・手湯
道後温泉駅前の放生園の足湯や第4分湯場の手湯に加え、2019(平成31)年には「道後温泉 空の散歩道」にも足湯を整備(6:00~21:00)。誰でも無料で利用が可能。



道後温泉本館
公眾浴場で初めての重要文化財です!

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉
市営では33年ぶりの新温泉施設です。



「伝統」と「最先端」が織りなすおもてなし
探訪
漱石さんも子規さんも、そぞろ歩いた湯のまち道後。「いい、加減。」のお湯に浸り、心も体も温まったら、アートの彩られた境界をひと歩き。「伝統」と「最先端」が共存するまちの魅力を満喫。

道後温泉の歴史は、今から3000年前に遡ります。伝説によれば、空から舞い降りた白鷺が、こんこんと湧き出る湯で傷を癒していたことから発見されたとか。以来、多くの文人墨客を癒やしてきました。その温泉街のシンボルとして親しまれているのは、1894(明治27)年、道後湯之町初代町長・伊佐庭如矢の英断により、改築を果たした道後温泉本館です。松山生まれの俳人・正岡子規や彼の盟友である夏目漱石も足を運んだといわれています。「神の湯」「霊の湯」の2種類の浴室、大広間や個室の休憩室、日本で唯一の皇室専用の浴室「又新殿」などを備えた立派な温泉は、1994(平成6)年に公衆浴場としては初めて国の重要文化財に。また2009(平成21)年にはミシユラン・グリーンガイド・ジャポン(観光地)で「3つ星」を獲得し、経済産業省の「近代化産業遺産」にも認定されました。2019(平成31)年1月15日からは、重要文化財の公衆浴場を営業しながら保存修理工事を行う全国

In the area around Dōgo hot springs, which was visited by the great literary figure Natsume Sōseki and haiku poet Masaoka Shiki, there are many places of interest. One of the main highlights is the Dōgo Onsen Main Hall, which has been designated as an important cultural property of Japan. The art events that have been taking place in the area are also very popular.

初めの取り組みをしています。そんな歴史ある湯のまちは近年、「アートのまち」としても人気。2014(平成26)年に開催された国際芸術祭「道後オンセナート2014」を皮切りに、以降もさまざまな作品が展開されています。また、2017(平成29)年にオープンした「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」は、聖徳太子の来浴伝説が残る飛鳥時代をイメージした「湯屋」をコンセプトに、内部は愛媛の伝統工芸を生かした展示品で装飾されています。銘板は、世界遺産・法隆寺の大野玄妙管長に揮毫いただきました。日本最古の名湯に浸り、湯上がりに浴衣姿でアートの世界を楽しめるのは、湯のまち道後の新しい旅のスタイル。おもてなしが息づく商店街や明治の面影を残す道後温泉駅、あちこちに点在する足湯を巡り、温泉街を見守り続ける寺社をお参りするなど、心に残る旅を満喫できます。

また、2017(平成29)年にオープンした「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」は、聖徳太子の来浴伝説が残る飛鳥時代をイメージした「湯屋」をコンセプトに、内部は愛媛の伝統工芸を生かした展示品で装飾されています。銘板は、世界遺産・法隆寺の大野玄妙管長に揮毫いただきました。日本最古の名湯に浸り、湯上がりに浴衣姿でアートの世界を楽しめるのは、湯のまち道後の新しい旅のスタイル。おもてなしが息づく商店街や明治の面影を残す道後温泉駅、あちこちに点在する足湯を巡り、温泉街を見守り続ける寺社をお参りするなど、心に残る旅を満喫できます。

湯けむりとアート探訪

伊佐庭如矢とは
伊予国の町医者の子として生まれ、維新後は愛媛県吏員となり、松山城を廃城から守る。その後、郡長や中学校校長、禰宜などの要職を歴任。1890(明治23)年、62歳のときに道後湯之町の初代町長に就任し、老朽化していた道後温泉本館の改築に取り組む。巨費が必要であることから、周囲から大きな反対を受けたが、自らの報酬を返上し、地道に反対派の説得を続け、今の形に改築する。また観光客の誘致を目的に道後鉄道敷設。道後温泉繁栄の基礎を築いた。

